◆印：重要項目

＜マイティデューロ2012大会規則＞

§1. 一 般 規 則

1.1. 競技者は次の事項を尊守しなければなりません。
- ●競技規則や運営、管理上の規定
- ●スポーツマンシップに則った言動
- ●公正、安全の為に整備された機材の使用

1.2. オフィシャル、マーシャル、その他主催者側の役員の指示には必ず従って下さい。

1.3. レース内容、コースについては、予告なしに変更する場合があります。これに関しての一切の抗議は認められません。

1.4. 天候、その他、様々な要因により、主催者側がレース続行を困難と判断した場合、レースの中断もしくは打ち切る場合があります。

1.5. レース参加者、およびその関係者が、レース会場の器物などを紛失または破損した場合、理由の如何に係わらず、その当事者が責任を負うことになります。

1.6. 大会参加に当り、これに関連して起きた負傷、病気、病死、死亡、競技者間の事故、及びエントラント、ピットクルー、レース車両、自動車などの受けた損害などにおいて、決して主催者及びその関係者に対して非難をしたり責任を追求したりしないこと。又、損害の賠償を請求したりしないこと。尚、このことはその原因が主催者またはその関係者に起因した場合でも変わりないものとします。そのため、会場内では十分に注意して行動して下さい。

1.7. 応急処置としての救護体制は整えますが、それ以上の治療は自己の責任において行って下さい。また、当日会場内で起こった事故やケガについては、大小に係わらず大会本部へ届けて下さい。

1.7.1 大会では主催者が、傷害保険に入っています。怪我等で保険を利用する可能性がある場合は、所定の書類を提出してください。

1.8. **火気注意**／会場内での直火のたき火は厳禁です。薪で調理をする場合は指定の場所を利用するか、鉄板を地面に敷いたうえでカマドを作って行って下さい。また、歩行中禁煙にもご協力下さい。

1.9. **コース内通行**／観戦や移動でコース内へ立ち入ることはできるだけ避けて下さい。

1.10. **寒さ、雨対策**／10月上旬の小海町周辺の気象や自然の状況は安定していますが、日本は3日に1回雨の降る国です。雨対策は万全にして下さい。またこの時期は日中と夜間の気温差が最も激しく、夜明けは真冬並みの寒さが予想されます。寒さ対策も万全にして参加して下さい。

1.11. **路上駐車禁止**／指定場所以外への路上駐車は運営に支障を来たします。絶対に駐車しないで下さい。

1.12. **清掃の義務**／会場のオートキャンプ場は自然を利用して作られています。現状維持はもちろん、使用する前よりきれいになるよう心がけて下さい。

1.13. **マイペースの励行**／マイペースで走り、マイペースで休み、マイペースで楽しんで下さい。

1.14. **肖像権について**／大会中、主催者により撮影された写真やビデオの肖像権は主催者に帰属します。そのため当人の了解無しに、レポートや雑誌に使用する場合があります。但し、大会に無関係の印刷物への使用の場合は、この限りではありません。

1.15. その他の注意事項（追加、変更）は受理証の発送時に参加案内としてお知らせします。

§2. エントリー

2.1. 参加受理証は必ず持参し、受付へ提示して下さい。

2.1.1 当日の受付手順は参加案内でお知らせします。

2.2. 入場ゲートでIDカード、または認識証等を配布しますので、必ず身に着けて下さい。

2.3. レース参加に当り各参加者は、健康管理に充分留意し、心身共に支障の無いようにして下さい。又、誓約書、健康管理届を署名、捺印のうえ主催者に提出しなければなりません。

2.3.1 書類の不備／やもうえない理由により、署名や捺印がされていない書類は当日のイレギュラーデスクで対応します。(2.6.1 参照)

2.4. 健康保険証（控え）は必ず持参して下さい。（サポートも同様）

2.5. 検車は受付の後に、ゼッケン、データキャリア（ホルダー）、ライト、尾灯、ヘルメットを持参し、検車場で受けて下さい。合格した車両は、指定のステッカーを指定場所に貼ります。レース中、検車ステッカーの貼っていない車両が確認された場合、走行を停止させる場合があります。

2.5.1 検車はセルフチェック（第三者確認）によって行います。各自、参加者同士でマシンの整備状況の他、ライトや尾灯の有無、ゼッケンやホルダーの装着、ライダーの服装のチェックを行って下さい。チェック終了後、セルフチェックカードと検査したマシンを持参して、検車シールをスタッフに貼ってもらって下さい。

2.5.2 ※機材、ヘルメットの使い回しは検車時に申告して下さい。（4.1.2 参照）

2.6. エントリーフィーには、記念品代、保険料、会場使用料が含まれていますが、入場料として一部を当日徴収します。またライダー以外のサポートにもサポート登録料という形で適用しますので、事前の申し込みを必ず行って下さい

2.6.1 イレギュラーデスク／申し込みの際の計算違いやメンバーの追加による、エントリーフィーの加不足は受付のイレギュラーデスクで対応します。また書類の不備についても同様です。

2.6.2 ◆ キャンセルについて
①申し込み後、参加受理証発行までの間のキャンセルは、チーム登録料以外のエントリーフィーの全額をお返しします。
②参加受理証発行後、大会1週間前までのキャンセルは、全入金額の50％をお返しします。
③大会直前（1週間以内）および当日のキャンセルについては、返金致しません。
※ただし、②、③については、参加者キット（記念品、パンフレット、ゼッケン等）を差し上げます。

2.6.3 メンバーの追加や変更は、参加受理証発行後にお願いします。その場合の料金の変更は当日対処します。

2.6.4 ◆ 大会直前のメンバー追加や締切を過ぎての申し込みには、1人500円のレイトフィーが発生します。これはサポートも同様です。また、チーム登録料にもレイトフィー1000円を科します。

2.6.5 傷害保険へ参加者全員で加入します。その際、小学生未満の幼児に関しても加入しますので、申込用紙に必ずメンバーとして記入して下さい。

2.6.6 入場料について／ライダーやサポート、さらにギャラリーなど個人にかかる保険代、記念品代を当日入場ゲートで徴収し、引き換えにIDカード（認識証）を発行します。

2.7. 天候その他の理由で、本大会が中止になった場合、エントリーフィーは返金しません。

2.8. カテゴリーおよびクラスについて

2.8.1 24時間完走を目標に、完走基準をトップチームの周回数の70％と50％の2段階でカテゴリーを設定します。

2.8.2 ◆ 2012年度は24時間以外に7時間と11時間のカテゴリーを設けます。
※参照項目（◇印）・・・(2.20.) (3.4.4) (4.7.2) (4.7.3)

2.9. 70％完走には以下のクラスがあります。

2.9.1 マイティマン・ワークス（MW）／このクラスは、ライダー4～5名とピットクルー数名のワークス体制で24時間を走る競技性の高いクラスです。

2.9.3 マイティデューロ・レーシー（MR）／このクラスは、ライダー6名～8名とピットクルー数名の準ワークス体制で24時間を走るクラスです。

2.10. 50％完走には以下のクラスがあります。

2.10.1 マイティマン・ソロ（MS）／このクラスは、単独で24時間に挑戦するクラスです。過酷なクラスのため事前審査が必要です。また不測の事態に備えてサポートを用意するか、緊急連絡先を提出する必要があります。(2.14.項参照)

2.10.2 マイティデューロ・ペア（MP）／このクラスは、2名で、マイペースで24時間を走るクラスです。

2.10.3 マイティデューロ・トリオ（MT）／このクラスは、3名で、マイペースで24時間を走るクラスです。

2.10.4 マイティデューロ・エンジョイ（ME）／このクラスは、4名以上で、マイペースで24時間を走るクラスです。定員制限無し。

2.10.5 マイティデューロ・ミックス（MM）／このクラスは、女性を含む2名以上で、マイペースで24時間を走るクラスです。定員制限無し。

2.10.6 マイティデューロ・レディス（ML）／このクラスは、女性のみの2名以上で、マイペースで24時間を走るクラスです。定員制限無し。

2.11. 24時間総合は、クラスに関係なく順位を競います。

2.12. ◆ 各カテゴリーでエントリーが3チームに達し場合は、他のカテゴリーに統合する場合があります。

2.13. 体験試走／コースは正式にエントリーしたライダーしか走れません。サポートやギャラリーでコースを走りたい人は、体験試走登録をしてください。簡単なスクーリングの後、試走が可能になります。（体験試走用ゼッケン500円）

2.14. ワークスへの出場者は、競技志向のカテゴリーのため、ライダーの過去のレースや大会の戦績を必要とします。

2.14.1 ソロエントリーおよびワークスライダーは、以下の条件のいずれかを満たすライダーとします。(詳しくは事務局に問い合わせて下さい)
●過去の当大会の入賞経験者
●当大会への出場経験者の推薦のある者
●主催者が特別に許可した者
●JCFの登録選手(戦績の分かる資料を提出)

2.15. 未成年者の参加については保護者の承諾が必要です。

2.16. 1チームの定員(ライダー＋サポート)には制限を設けませんが、小学生未満も人数にカウントします。

2.17. チーム名は自由に付けて下さい。但し、兄弟チームの区別は分かり易くして下さい。また、長いチーム名はカタカナの略称をお願いします。

2.18. ◆ チームプロフィールを必ず添えて下さい。ミニFMなどで紹介します。

2.19. 招待チーム／前年優勝チーム、後援推薦チーム、地区代表チーム、自薦強豪チームの枠を設け、ワークスやレーシーへ招待します。

2.20. ◇ 7時間と11時間について

2.20.1 7時間オープンクラス(7h)／このクラスは、ソロまたはグループで7時間の周回数を競います。ライト装備ナシで参加できるよう日没前のフィニッシュとします。

2.20.2 11時間オープンクラス(11h)／このクラスは、ソロまたはグループで11時間の周回数を競います。キャンピング装備ナシで参加できるよう日付が変わる前にフィニッシュとします。

2.20.3 参加チーム数によってはカテゴリーを、ソロ、ペア、グループに分割する場合があります。

§3. ピット

3.1. メカニック、ピットクルーは定められたピットエリア内のみで作業することができます。

3.2. ライダーの交替はピットのみとし、リストバンド等の交換で行います。

3.3. 監督、メカニック、マッサージャー、記録、サポートをピットクルーとし、ギャラリーと区別します。

3.3.1 ◆ マイティマン・ワークスでは2名以上の、マイティマン・レーシーでは1名以上のピットクルーを用意して下さい。

3.3.2 マイティマン・ソロに出走するライダーは、兄弟チーム内でのサポート(ライダーでも可)の兼務は可能ですが、申し込みの際に必ず兼務者と分かるようにして両方の申込用紙に氏名を記入して下さい。
また単独で参加を希望する場合は、申し込みの際に事務局に連絡して下さい。その際、緊急連絡先を必要とします。

3.3.3 キャンプ場へ宿泊する応援者をサポート、日帰りや近くの宿に泊まる応援者をギャラリーとしますが、ギャラリーに関しても入場ゲートでIDカード(認識証)を有料で発行します。

3.4. ピットスペースについて。林間のオートキャンプ場とグラウンドを用意します。

3.4.1 ピットスペースへの自動車の乗り入れは原則として2台までとします。ただしチームメンバーが10名を越える場合は1台の追加を認めます。

3.4.2 ピットスペースへ入れない車のため、駐車場を用意します。不要な車、買い出し用の車などを止めて下さい。

3.4.3 ギャラリーや応援等で、途中入場や退場を希望するチーム関係者はグラウンドを利用して下さい。

3.4.4 ◇ 7時間と11時間で日帰り参加の場合は指定のピットをご利用下さい。

3.5. ピットスペースへの誘導はスタッフの指示に従って下さい。

3.6. ピットスペースへの大型車(2t車以上)の乗り入れおよび駐車は厳禁とします。チームでバイクや用具を大型車で運んできた場合は、指定場所で機材を下ろし、駐車は指定の場所にお願いします。また、大型のキャンピングカーも林間キャンプ場に入れない場合があります。その場合、係の指示に従って下さい。

3.7. ピット内では選手の休憩および補給ができます。

3.7.1 走りながら水分補給は可能です。(ドリンクの携行義務／特に暑さ対策として)

3.7.2 食料の摂取はエイドステーション及びピット内だけとします。(走りながらの食料摂取は不可)

3.8. ピット内へのアルコール飲料の持ち込み制限は行いませんが、酒気帯び運転は厳禁です。

3.9. ピットおよびコースには原則として夜間照明は行いません。

3.10. テント(自立式)、ストーブ、ランタン(要予備)はもとより、タープ、発電機、簡易ベッドなど有効と思える備品を揃えて下さい。また、整備用の工具や作業台にも工夫を凝らして下さい。

3.10.1 ◆ ピット内での発電機の使用は他のチームの迷惑にならないようお願いします。できれば2サイクルの物は使用しないで下さい。また、騒音を防ぐため、延長コードを用意してピットエリア外へ設置して下さい。

3.11. 水場、トイレ、シャワーは完備していますが、込み合いますので順序良く使用して下さい。【温泉施設の割引利用可能】

3.12. ◆ **チームサイン(看板)**／各ピット前に、チーム名の分かる看板(表札)等を設置して下さい。(20cm×40cm 以上の大きさ)

3.13. バナー設置に関してはピット内でのみ許可します。ただし協賛関係のものはコース上にも掲示できます。

3.14. フリーマーケットは参加チームのピットワークに邪魔にならないように出店して下さい。

§4. 装 備

4.1. 保安具着用義務／ヘルメット、グラブは必ず着用して下さい。また、ゴーグル、専用シューズ、エルボーガード、ニーガードの着用は任意とします。ヘッドランプも任意とします。

4.1.1 競技、練習に際してはヘルメット着用義務です。また、ヘルメットはJCF／UCIの安全基準に対応しているものを使用して下さい。

4.1.2 ヘルメットやその他の用具の使い回しは可とします。

4.2. バイク用のゼッケン(ナンバープレート)は指定場所にしっかりと固定して下さい。脱落、破損、その他でゼッケンが確認できないと周回チェックができません。折角の1周が無駄にならないためにも、誰が見ても分かるように取り付け、常に汚れを落としてきれいにしておいて下さい。

4.2.1 ナンバープレートはカットや折り曲げるような改変はしないで下さい。

4.2.2 ナンバープレートは主催者のみが広告に利用することができます。むやみにステッカーやロゴマークを貼ったり、書き込んだりしないで下さい。

4.2.3 150㎜×210㎜ のゼッケンをハンドル前面下部に取り付けます。そのためライトの取り付け位置に注意して下さい。

4.3. チームで同じデザインのユニフォームの着用を勧めます。ワークスではできるだけ統一して下さい。

4.3.1 仮装大賞の着衣は、危険のないよう行って下さい。

4.4. ジャージへの広告は、メーカーやショップのサポートを受けているワークスのチームに限ります。

4.5. 安全走行のために検車を行いますが、各自の安全のためにレース車両の整備を充分に行って下さい。整備不良車両は出走を許可しません。

4.6. レース車両の改造は自由ですが、安全を損なうような改造は避けて下さい。

4.7. 検車をパスするとフレームにステッカーを貼ります。
従ってレース中車両が破損した場合でもフレーム交換や車両交換は認められません。フレーム以外のパーツ交換は自由です。(グループ内での車両やホイール、パーツの交換は可能。またMTBの使い回しも可能)

4.7.1 ◆ 使用マシンの台数や仕様の制限はありません。メイン、サブ、夜間用、雨天用など、24時間を走り抜く工夫をして下さい。但し全車両検車を受けて下さい。

4.7.2 ◇ 7時間は、ライト装備は不要です。

4.7.3 ◇ 11時間は、24時間に準じます。

4.8. ベル、リフレクター、ポンプ、ボトル、メーター、マッドガード、キャリア、バッグなどは、必要に応じて取り付けて下さい。但し、走行中に脱落の可能性があるものは、ガムテープやマジックテープで確実に固定して下さい。

4.8.1 工具、補修パーツの携行は自由とします。

4.8.2 ドリンクの携行は義務とします。最低でも300ml は携帯して出走して下さい。

4.9. ホイール径やハンドル形状についての規制は設けませんが、検車で安全に差し障りのあると認められた場合は出走できないこともあります。

4.10. ◆ 夜間走行においては、常時1灯のライト点灯(予備のため2灯以上を取り付けること。ヘッドライト可。)と尾灯点灯(赤色、点滅可、人体取付可)を義務とします。

4.10.1 フロントハブに取り付けるヤジロベータイプのライトは林間走行では危険のため不可とします。

4.10.2 ヘッドライトは安全のためできるだけ使用して下さい。使用する場合は確実にヘルメットに固定して下さい。

4.10.3 ◆ ワークスではヘッドライトを義務とします。

4.11. 自動計測で使用する電波発信器(チップ)を自転車に固定するホルダーを、左フロントフォークの途中に取り付けます。(5.7 参照)
そのためライトの取り付け位置に注意して下さい。

4.11.1 電波発信器(チップ)は、約30gと小型軽量です。また“リレー”して使います。

§5. 競 技

5.1. 正式にエントリー(参加受付)を済ませた競技者以外はコースや会場において練習することはできません。

5.1.1 サポートやギャラリーでコースを走りたい人は、体験試走登録を行って下さい。(2.13.参照)

5.2. 試走時間／土曜日の部分試走は一般道横断部を境にピット周辺以外を走れます。また希望者を募り、前日に夜間試走をする予定です。日曜日のフルコース試走はスタッフのコースチェック後に可能です。

5.2.1 練習中であってもヘルメット等を着用して下さい。

5.3. スーパーラップコンテスト／スターティンググリッド(ポールポジション)決定のためのタイムトライアルです。ショートコースを使い、日中に予選、日没後に決勝を行ないます。

5.4. コースについてはライダーズミーティングにて説明。

5.4.1 コースプロフィール・・・当日プログラムのコースレイアウト参照

5.4.2 コースチェンジ／夜間コース、雨天コース、ダメージ対策などでコース変更をする場合があります。

5.4.3 コース上には1～3ケ所のエイドステーションおよびマーシャルポイントを設置します。

5.5. オフィシャルについて

5.5.1 本部には実行委員長および大会役員以下、インフォメーション係、救護係、サブイベント係(ステージ&ミニFM)、メカニックサービス、が控えています。

5.5.2 競技審判には、競技審判長、副審判長、タイムキーパー、スタートジャッジ、フィニッシュジャッジ、コースマーシャル、コースキーパーを置きます。

5.5.3 本部の位置はフィニッシュ(計測)地点のそばに設置します。

5.6. コースマーシャルは複数の実走スタッフチームのローテーションで24時間対応します。

5.6.1 マルチ実走スタッフローテーション／2～3の実走チームで、定期的にコースを走り、コース上のレース管理を行います。そのためスタッフにゆとりが生まれ安全管理の向上が期待でき、レース審判、救護体制、路面管理、スタッフへの補給、など24時間におよぶコース上の様々な問題に対応します。

5.7. 計測は24時間用に対応できる自動計測システムを使用します。

5.7.1 自動計測システム／ライダーが携帯する電波発信器(チップ)からのゼッケン別の信号を地上に設置されたアンテナで自動に読み取り、計測、集計をパソコンで行うシステムです。読み取りと同時に、ゼッケンチェック、走行時間、周回数、ラップタイム、先頭とのタイム差、などを画面表示します。また競技の途中経過や終了結果をほぼリアルタイムに表示できます。

5.8. ライダーズミーティングには全競技者の出席を必要とします。

5.8.1 コース、スタート、フィニッシュ、計測、オフィシャル、等についての詳細はライダーズミーティングで説明します。

5.9. スタートはウエーブスタートで行う予定です。

5.9.1 スーパーラップコンテストでスターティンググリッド(整列順)を決め、参加チームを3～4のグループに分け、グループ毎にスタートフォーメーションを組み、さらにグループ毎に時差スタート(30秒～1分間隔)を行い、第一コーナーでの渋滞を解消し、スムーズにコースに入れるようにします。

5.10. フィニッシュは計測のアンテナ前の通過によって行います。また、24時間を経過してからの最初のライダーをファーストフィニッシャーとして迎えます。

5.10.1 順位は、①周回数、②所要時間、によって決定します。

5.10.2 メカトラやその他の理由によって走行不能になった場合、その場で自力または仲間等の手を借りて補修するか、車両を押して(担いで)フィニッシュラインを通過しなければなりません。コース上での車両の交換は認められません。

5.10.3 フィニッシュライダーはフィニッシュセレモニーに対応できるように準備(マシン、ウエア、パフォーマンス)すると良いでしょう。

5.10.4 再スタートについて／悪天候等の理由で途中打ち切りの場合の再スタートは、中断時間の長さによって検討し、その場で説明します。

5.11. ライダーへの補給や補助は決められた場所以外で行ってはなりません。

5.12. 競技者の責任および反則行為について

5.12.1 競技者は公式なコース、距離を走行する責任があります。

5.12.2 競技者は許可されていないショートカットを行ってはなりません。

5.12.3 競技者はコースに沿って技術的な補助を受けてはなりません。むしろ各競技者の自転車、フレーム、ホイールは識別のためにマーキングされる必要があります。

5.12.4 競技者は競技中に攻撃的な、またはロぎたない言語や、スポーツマナーに反する言動、オフィシャルに失礼であるか、競技規則を無視する行動はしてはなりません。

5.12.5 競技者は常に礼儀正しい態度で競技し、追走してくる競技者に対して故意に邪魔をしてはなりません。また抜く場合も前走者に抜く意思を伝えて、回避行動を確認してから追い越すようにして下さい。

5.12.6 競技者は開催地に対して尊敬し、唯一公式のコースでのみ走行することができます。競技者は会場地区を汚すのを避けなければならないし、ガラスの容器を使用することは許されません。

5.13. 競技者はUCIによって規定する禁止薬物リスト上の物質を使用することはできません。

5.14. ペナルティについて

5.14.1 以下の者をペナルティの対象とします。
●本大会規則に反する行為(検車を受けていない車両の使用、コースのショートカットなど)を行った者、又は行おうとする者。
●レース妨害、及びスポーツマンらしからぬ行為を行った者。
●役員の指示に反する行為、及び言動をした者。
●メカニック、ピットクルーも本大会規則に違反した場合には、これを参加選手に適用します。

5.14.2 ペナルティには違反の性質により以下のように課すことができます。
●警告 ●順位の入れ替え(1、またはそれ以上の)
●失格 ●タイムへのペナルティ

5.14.3 タイムへのペナルティの執行。
①ペナルティボックスで停止
②競技終了後タイムを加算

5.14.4 競技審判は違反が確認されたならば、対象の競技者またはチームの代表者に通知します。

5.15. 抗議について

5.15.1 抗議は、その抗議に直接関係のある競技者が違反通知後15分以内、競技結果掲示後15分以内に文書で競技審判長に提出されなければなりません。

5.15.2 抗議文書の用紙は本部で有料にてお分けします。

5.15.3 規則の無知は弁解として認められません。

※本大会規則は「日本マウンテンバイク競技連盟規則集(当時)／現JCF規則集」を基準とし、ローカルルールを付加し作成しています。

※大会に関する質問は、チーム代表者が質問項目をまとめて企画デスクへ問い合わせて下さい。
小海プティリッツア探索委員会企画デスク
TEL:090－5573－9372 FAX:03－6368－4661
Eメール bikejoyQ@aol.com

★ 器材および備品レンタルについて
24時間耐久レースは、24時間を走るだけでなく、2泊3日のオートキャンプも楽しまなくてはなりません。その中で、雨対策、寒さ対策、夜間対策のための備品を主催者でまとめ、レンタルの斡旋を行います。
運動会テント、石油ストーブ、電源を有料でご用意いたします。金額等は別紙で案内致しますので、希望者は事務局まで連絡してください。但し、テントの設営は場所を確保した後、各自でお願いします。固定は主催者で行ないます。

※ **事前チーム登録は義務ではありません。**メンバー登録と同時で構いません。その際、P3の用紙は必要ありませんが、メンバー登録用紙に同時登録であることを明記し、チーム登録料を忘れずに添えてください。

最終締切／９月２５日消印有功

★観光宿泊問い合わせ

＊小海町観光協会 ／ http://www.koumi-kankou.net/
＊松原湖観光宿泊案内所 ／ TEL&FAX0267-93-2005
Eメール matsubarako@koumi-kankou.net
10:00～17:00 水曜日休館 松原湖湖畔
＊(社)小海町開発公社 ／ TEL0267-93-2539 FAX93-2520
Eメール kaihatukousya@koumi-town.jp
http://www.koumi-town.jp/kousha/
＊小海リゾートシティ・リエックス ／ TEL0267－93－2211
http://www.reex.co.jp/KOUMI/
＊八峰の湯 ／ TEL0267-93-2288 FAX0267-93-2520
http://www.yahho-onsen.jp/